



ながはし

【目指す学校】

一人一人の子どもを主語に
する学校

<学校教育目標> かしこく なかよく たくましく



長橋小HP

いじめ見逃し0（ゼロ）を目指して

校長 安達直樹

いじめを見逃さない！ 皆さんは、「いじめ」というとどんなことを思い浮かべますか？集団で一人を・・・、執拗に・・・、陰湿な・・・、など様々かと思います。「悪口を言われた」「ちょっと押された・・・」「にらまれた気がする・・・」これはどうでしょうか。

現在の「いじめ」の定義は、『同じ学校にいる、他の学年も含めた子ども』が『心身に影響を与える行為（SNSによる行為等も含む）』によって『心身に苦痛を感じている』こととされています。つまり、人数や場所、行為の軽重、加害側に悪意があったかどうかなどに関わらず、被害を受けたお子さんが心身に苦痛を感じていれば「いじめ」として認知することとなっています。この定義に基づいて対応することとなったのは平成25年からですので、それ以前とは「いじめ」の意味合いがずいぶん変わったのです。



長橋小学校では、いじめ自体が0（ゼロ）になることを目指して、日々の教育活動全般や道徳科の授業等でお子さんの心の醸成を図っているところですが、いじめを見流さない「いじめ見逃し0（ゼロ）」を徹底して、教職員全員で見守る体制をとっております。

「いじめアンケート」の結果から 今年も「いじめ見逃し0」の取組の一つとして、6月に第1回目の「いじめアンケート」を全校児童を対象に実施しました。

今回のアンケートによるいじめの認知件数は全校で39件（去年同期比4件増）でした。

主な行為としては「ひやかしゃからかい」が最も多く、次いで多かったのが「仲間外れや無視をされる」、「ぶつかられる、たたかれる」でした。



アンケートから分かったいじめについては、各担任が一人一人の児童から聞き取り、確認するとともに、相手がいる場合には相手のお子さんへの指導をしたうえで、解決したという場合でも、最低3か月間は経過を見て、いじめが解消されたかを確認するようにしています。これは、いじめを早期発見し、しっかりと見守ることで、深刻ないじめにつながることをのなくするという意味があります。



いじめなどを受けた時の相談相手については、「教員」91.0%、「家族」68.1%、「友人」55.1%という割合でした。先生方へ相談しやすい環境であることが一定程度うかがうことができたのですが、スクールカウンセラーと回答したお子さんが14.2%であったことから、スクールカウンセラーの来校日や、気軽に相談できることを改めて周知するなど、よりお子さんが相談しやすい環境づくりに努めてまいります。



もちろんアンケートだけでなく、日々の学校生活の中で起きたいじめについてもしっかりと認知し、上記の対応と同様に経過を見るようにしております。ご家庭からの連絡でわかるいじめもありますので、今後ご家庭と協力しながら、お子さんが安心して学校生活を送ることができるように見守り、支えてまいります。

◎ 1学期がスタートして、早くも3ヵ月。気付けば夏休みがすぐそこまで近づいてきました。以下、今月の様子について簡単にお伝えします。

・6/17「ふるさと教育～潮音頭を踊ろう～」がありました。

本校の1～4年生を対象に「ふるさと教育～潮音頭を踊ろう～」を行いました。講師には藤間流扇玉会会主、藤間扇玉先生に今年もお越しをいただきました。始めの挨拶から、潮音頭、潮踊り唄まで丁寧に教えていただきました。終了後には「とても元気な子ども達ですね」とのお話がありました。今回の取組で学んだことを大切にして、7月25日の潮ねりこみ本番に臨んで参ります。



・6/17～18「修学旅行」六年生、元気に行ってきました！

6月17日～18日の1泊2日で、六年生が修学旅行に行きました。1日目は札幌市の青少年科学館、新千歳空港、国立民族共生象徴空間（通称：ウポポイ）、洞爺サンパレスでの夕食や花火鑑賞と、充実したひとときを過ごしました。

2日目は火山科学館、入り江高砂貝塚（世界文化遺産）、サイロ展望台で昼食（カレー食べ放題！）と買い物をして、定刻通りに無事、学校まで帰って来ました。

解散式では、引率された先生方はもとより、添乗員の方からも「今まで見たことがないくらい、素晴らしい六年生でした。」と最上級のお褒めの言葉をいただきました。

この2日間の学びと経験を生かし、最後の小学校生活をより豊かなものにして欲しいと思います。保護者の皆様におかれましては、出発時のお見送り、到着時のお迎えなど、沢山のご協力本当にありがとうございました。また一回り成長できた六年生でした。



・6/22 二年生「手話の教室」がありました。

6月22日（月）の3校時、小樽市福祉保険部福祉総合相談室より講師の先生をお招きし、「手話の教室」を実施しました。

日頃苦勞していること（救急車のサイレンが聞こえず、青信号で渡ろうと思ったら救急車がすぐそこまで来ていたことなど）についてのお話しや、日常の挨拶（「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「おやすみ」）など身近な言葉を教えて下さいました。二年生も真剣に取り組んでいました。



・6/21～22「家庭学習がんばり週間」表彰をしました！

6月8日（月）～15日（月）の期間、二年生以上を対象に「家庭学習がんばり週間」に取り組みました。期間中、音読の取組回数を集計してポイント化し、がんばりを数値化しました。そして、校長先生が各クラスをまわって表彰をしました。この取組をきっかけに、今まで以上に家庭学習に意欲的に取り組んでくれることを願っています。

